

(別紙4(2))

事業所名 リハビリセンター白鳥

目標達成計画

作成日: 平成29年 3月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	昼夕食は配食を利用し、利用者が盛り付けや片付けを行っている。ゆっくり食事が摂れる様音楽をかけている。今回グループホームの職員が昼食時の対応ではなかったが、どの職員が介入しても、ゆっくりと食事を楽しんでもらう工夫が必要である。	食事中も、仲間同士や職員と一緒に食事の話題などコミュニケーションを図りゆっくり食事を楽しんでもらう。食事が終わるまで待ち、一緒に片づけをする。	食べ終わった方から片付けるのではなく、全員が終わるまで待ち、先に食べ終わった方と職員とコミュニケーションを図るなどゆっくりと食事を楽しんでもらう。食事後に利用者へお盆を渡す。	1ヶ月
2	49	年間の行事計画(桜や紅葉ドライブ等)には外出出来ているが、日常的な外出は行われていない。畑や花壇の観賞に少し出かけるなどしており、利用者の重度化もあるが暖かくなったら外出をしていきたい。	気候が温かくなったら、施設周辺や近所に散歩に出かけるなど、外に出る事で季節感を感じられる事が出来る。又、気分転換となる。	その日の利用者の状態や気候に合わせ、外へ散歩に出かけ、外の空気に触れる。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。